

# 富山県教育記念館のご案内

当財団では、管理運営する富山県教育記念館(富山市千歳町)において、例年、元気で創造性豊かな子どもたちを育てる多彩な恒例展や「教育博物館」としての企画展・常設展を開催しています。令和6年度は「富山の教育史料に学ぶ」として、以下の企画展を行います。ご来県の際は、是非当館にお越しいただき、ご覧くださいませようご案内いたします。

## 企画展

### 「戦火を逃れて富山へ来た子どもたち」 ～ 学童集団疎開80周年 ～

展示期間：4月18日(木)～6月30日(日)

「学童集団疎開」は、今から80年前の太平洋戦争末期、アメリカ軍の本土爆撃に備え、東京・大阪・名古屋等、大都市部の国民学校初等科の学童を、学校単位に集団で、より安全な地域に一時移住させたことをいいます。その総数は日本全国で約58万人以上と推計され、富山県も東京都内の4つの区から15,000人超の子どもたちを受け入れました。

いつの時代にも戦禍に巻き込まれるのは、弱い立場の人々、特に子どもたちです。今日、世界各地では偏見や分断が深刻化し、紛争や侵略が勢いを増す危機的状況にあります。

本展示では、弊館がこれまで調査収集してきた事柄や収蔵品等を中心に、東京から富山へ逃れて来た子どもたちの生活の様子を語る資料や絵日記等を展示します。それらを通して、疎開の実相やその時々を子どもたちがどのように受け止めてきたのかを感じ取り、改めて平和の大切さを考える機会を提供します。



「疎開の子ども 600日の絵日記」より

## 恒例展

### －元気で創造性豊かな子どもたちを育てる－



さんすうワールド展  
(7～8月)



子どもの目、自然不思議発見写真展  
(9月)



児童・生徒によるものづくり展  
(10～11月)

## 常設展

### －「とやまのひとづくり」を再発見できる－

#### 富山県教育のあゆみにふれる



寺子屋で「こんかがき」体験

#### ふるさとの優れた先人に会える(総勢157人)



「原 信夫」顕彰コルトン

※顕彰展示中の6人  
原 信夫、吉田 実  
酒井静女  
南 桂子、江尻豊治  
宮武英男